



2025年4月4日提出！ 東地申第48号 「総合車両センター教育体制の見直し」に関する申し入れ

地本は2月27日に総合車両センターの教育体制の見直しについて」の提案を首都圏本部より受けました。本提案の内容は、総合車両センターと車両センターにおける教育に関わる企画・計画業務を大宮車両センターに移管し集約することです。

これまでの教育体制

東京総合車両センター

大宮総合車両センター

※ その他の車両センター

※ 尾久車両センター、
松戸車両センター、
さいたま車両センターなど

それぞれの職場で
教育に関わる企画・計画業務を
行ってきた

今回提案された教育体制

東京総合車両センター技術科の教育に関わる企画・計画業務を
大宮総合車両センターへ移管する。

東京総合車両センター 技術科

教育に関わる企画・計画業務を移管

大宮総合車両センター 生産管理科

ところが・・・

提案資料の別紙にあるイメージ図には、
実施内容に示された東京総合車両センタ
ーと大宮車両センターだけでなく、
そのほかの総合車両センター・車両センタ
ーが含まれていた！！

具体的な職場が記載されていない・・・

その他の車両センター

その他の総合車両センタ

地本は提案時に、業務上の変化があるにも関わらず説明もない。組合側から聞いて初めて内容が分かる提案の方法に問題があることを指摘してきました。車両検修職場において、教育とは職業訓練そのものであり、担う車両検修業務の質的な維持向上を実現する上で蔑ろになってはいけないものです。

【申し入れ項目】

- 1, 本施策を実施するにあたっての経緯を示し、その目的を明らかにすること。
- 2, 集約箇所を大宮総合車両センターとした根拠を示すこと。
- 3, 体制変更後の企画を担当する社員が担う具体的な教育項目を明らかにすること。
- 4, 本施策に関係する職場をすべて明らかにし、必要な説明を職場において行うこと。
- 5, 施策実施に伴い、各職場における業務上の変化を明らかにすること。
- 6, 派遣される講師を担う社員について、負担が集中しないように配慮すること。
- 7, 本申し入れについての団体交渉を2025年4月30日までに開催すること。

今後の車両検修業務を担う社員の成長のため、

それを通じて JR 東日本の車両の品質の向上を作り上げるために団体交渉に臨みます！